

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第2回産業経済・都市基盤整備・交通部会
開催日時	令和8年4月22日 13時30分 ～ 16時00分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎4階第1委員会室
出席委員	出席者：臼田委員、鎌塚委員、木全委員、高橋委員、森委員、小川委員 欠席者：石田委員、浅野委員、田中委員、古家委員
事務局出席者	山田経済部長、東建設水道部長、東市民部長、櫻田総合政策室長、 佐藤建設水道部次長、開発建設水道部次長、成毛農務課長、太斉都市整備課長、 伊藤業務課長、有門工務課長、新田環境生活課長、池田産業振興課長、 川島耕地林務課長、佐藤総合政策課長、齊藤総合政策課主査、横澤総合政策課主事
審議事項	<p>1 開 会（成毛農務課長）</p> <p>2 部会長挨拶（高橋部会長） 専門部会については具体的な基本計画を検討する場になっている。 各主要施策について意見をいただく。実施計画につながる内容となるため、活発な意見をお願いしたい。</p> <p>3 議 事 (1) 都市基盤整備（建設水道部・上下水道室）について (2) 交通（総合政策部）について (3) 産業経済（経済部）について ⇒各所管部署から内容を説明、説明後に意見を聴取</p> <p>4 そ の 他 ○高橋部会長から 今回基本計画の議論を行ったが、もう一度参集して議論するか資料提供の上で確認するかどのように進めるべきか。 <u>⇒修正したデータを委員各位に送付し、それぞれ確認することにする。</u> ○事務局から 5月に総合政策部会で基本構想と重点事業の内容を確認する。また市民説明会を7月頃実施し、その後パブリックコメントを実施する流れとなる。</p> <p>5 閉 会（成毛農務課長）</p>

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅲ-6 都市空間・住環境の整備</p> <p>■委員 ベースは立地適正化計画のコンパクトシティが念頭にあると理解している。コンパクトなまちづくりの進捗状況はどうなっているか。エリアへの誘導策について知りたい。</p> <p>◎事務局 誘導区域の成果としては西條の中のにこにこランドなどが挙げられる。図書館などについては具体には進んでいない状況ではある。継続した考え方の基で取組を検討していかなければならないと感じている。</p> <p>誘導区域に公共施設を移して、エリア移動を促していく。まちづくり会社とも協力しながら進めている。</p> <p>■委員 KPIなどで表しづらいこともあり、進捗状況の設定が難しいと思うが、何か進捗状況について示していくことはできるものか。</p> <p>◎事務局 具体的にいつまでに何をやるというところまでは踏み込めてはいない。公共施設を集約していけば、市民が緩やかに居住区域も移っていくと思っている。</p> <p>■委員 形になるまでに20年～30年間かかるのはわかるが、コンパクトなまちと言っている、まちの規模は大きくなっている。規制はできないと思うが、民を誘導できる仕組みが必要ではないか。住宅改修の誘導区域内だと補助額を上乗せするくらいしか現状ない。誘導策についてはもっと考えないといけない。</p> <p>■委員 空き家の発生抑制に向けた対策について、まちの中にも危険な空き家が散見される現状があると思う。都市景観にも影響ある。この対策について抑制に留まっていけないものか。</p> <p>◎事務局 出前講座や広報等で周知・啓発から行っている状況。管理不全の空き家が増えていることも認識しており、指導等も行っているところ。特定空き家に認定した場合は代執行という形で市が取り壊し、所有者本人に費用を請求する仕組みがある。</p> <p>■委員 すぐに代執行という話にはならないと思うが、空き家も増えてくると自己完結できないこともある。様々な手法で解決していただけるといいと思う。行政だけでなく民間とも協力した取り組みも検討してほしい。</p>
-------------	---

<p>発言内容</p>	<p>■委員 空き家を使いたい方に向けての周知などはしていけないものか。</p> <p>◎事務局 名寄市内は不動産業者が多く、空き家の活用は進んでいると認識している。また空き家を所有者が解体していることが多いと思う。不動産を通じて民間で空き家の利活用を行っている例はあると思うが、市の取り組みとしては進んでいない。</p> <p>◎事務局 今年度空き家対策の計画をたてることとしている。委員会を設けて意見をいただいている。委員の中には不動産関係や町内会連合会など居住者の立場の方もいる。</p> <p>空き家の活用については先進事例として旭川市の0円物件の取り組みも視察している。旭川市では空き家所有者と住宅を取得したい人とのマッチングの取組も進んでいる。管理不全空き家になる前に利活用を図っていくのが大事だと思うので、引き続き計画でも位置づけていかなければならない。</p> <p>■委員 特定空き家は何件あるのか。</p> <p>◎事務局 現状市内には特定空き家は無い。</p> <p>■委員 状態がひどい空き家は多数見受けられる。特定空き家と管理不全空き家の線引きが難しい。対策講じなければ増える一方である。考えていかなければならないのではないか。</p> <p>◎事務局 名寄市内に空き家は100件以上あり、空き家解体の補助事業はあるものの経済状況によって解体等できないことが多い。特定空き家認定後の代執行でも本人負担まで至らないケースが多い。</p>
-------------	--

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅲ-7 上水道の整備</p>
	<p>■委員 水道管老朽化しているのは把握している。共同水道という形で市の水道が通っていないところもあり、市の水道を入れると相当な金額がかかると認識している。その部分の整備についてはどのように考えているのか。</p>
	<p>◎事務局 名寄市の水道の心臓部である浄水場の整備を急務として郊外地区の拡張工事は凍結としている。</p>
	<p>■委員 共同水道に何かあった時にずっと止めることにはならない。郊外地区の工事を凍結するにしてもこれからどうするのか示さないといけないのではないか。</p>
	<p>◎事務局 郊外地区の拡張事業を凍結することについては2年前に検討を行い、地域の方には説明をしたところ。共同水道が壊れた場合の改修費や井戸の新設に対する補助事業など検討した結果を説明している。郊外地区の拡張を行った場合水道料金を大幅に上げていくことになる。使用者の皆さんが納得できるかという部分もあり、老朽管や漏水などの対応とバランスを考えながら進めなければならない。</p>
	<p>○基本目標Ⅲ-8 下水道・個別排水の整備</p>
	<p>■委員 合併浄化槽の普及はどのような状況か。</p>
	<p>◎事務局 3分の2に満たないくらいは合併浄化槽が普及しており、残りは単独浄化槽か汲み取りなどがある。</p>
	<p>○基本目標Ⅲ-9 道路の整備</p>
	<p>■委員 GPSを活用した除雪の取り組みはどうなっているのか。</p>
	<p>◎事務局 除排雪のシステムを導入し、作業しているところをリアルタイムで把握できるようにしている。除雪排雪の状況を把握し、効率的な運営ができている。</p>
	<p>■委員 道路と除雪は相当な金額がかかると認識している。どこまで整備するのか大きな課題であると思う。基準の見直しも必要ではないか。</p>
<p>◎事務局 現在の基準が適正なのか、また排雪の回数なども適正かというところもあるが、人件費燃料の高騰、人材不足など課題もある。現状維持しながら検討していく。除雪車の免許の補助も進めており、人材不足の改善も図っている。</p>	
<p>■委員 市民のみなさんにも我慢してもらうことも必要ではないか。予算上理解いただくことも必要では。集約した道路整備を考えていかないといけないと思う。</p>	

<p>発言内容</p>	<p>■委員 更に細かい事業について話し合う場はあるのか。</p> <p>◎事務局 実施している本部会については基本計画までの内容の協議となり、個別計画については庁内で検討し、まとめたうえで、総合計画審議会の全体会で共有をさせていただく流れになる。</p> <p>○基本目標Ⅲ-10 地域公共交通対策の推進</p> <p>■委員 前提の話となるが基本計画は市長任期と合わせて4年だと思うが、市長公約と合わせた検討がなされているのか。</p> <p>◎事務局 総合計画の重点的な事業等は庁内で議論を行っているところ。市長公約に掲げた事業についても基本計画の主な施策・取組にも含まれているが、重点的な事業としての掲載なども検討をしているところ。</p> <p>■委員 重点事業でなくても公約と見える形としていく必要があるのではないか。</p> <p>■委員 JRの上下分離について今年度中に抜本的な見直しとのことだが、今後4年間の大きな課題にあると思うので、そこを盛り込むことも重要ではないか。現状と課題に記載しなくてよいものか。</p> <p>◎事務局 これから提案の詳細が示される場所であるため、それによっては追記などをするところもあるかと思う。その際は共有をさせていただく。</p>
-------------	---

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅳ-1 農業・農村の振興</p>
	<p>■委員 地域の強みという部分はどこを捉えているのか。</p>
	<p>◎事務局 アスパラやもち米というところが強みであるが、それに頼らない品目の拡充や認知度の向上も必要になってくると感じている。</p>
	<p>■委員 農業をやりたい人に対して市で支援していくということになると思うが、補助の内容などはJAと協力して決めていくものか。</p>
	<p>◎事務局 農業施策は農協と農業者と手を組みながら進んでいくことになる。次期農業・農村振興計画も同時に整合性をとりながら進めている。農業者の皆さんから聞き取りをしながら進めていく。</p>
	<p>■委員 新規就農で来ている地域おこし協力隊について4年目以降の協力隊の延長も検討しないといけない。良い土地が出なかった時の支援体制も必要ではないか。JAと連携をとりながら進めてほしい。</p>
	<p>■委員 地域おこし協力隊は地区外から来ているが、親元を継ぐ新規就農者に対する支援制度が無い。トラクターなどの農業機械の価格も高騰している。</p>
	<p>■委員 有害鳥獣対策について、名寄と風連の猟友会が協力して取り組んでいるが、上川全体で取組を進めないと数は減っていかない。北海道と協議して会議など連携の機会を増やして欲しい。名寄だけ対策しても数は減っていかない。</p>
	<p>○基本目標Ⅳ-2 森林保全と林業の振興</p>
	<p>■委員 山の所有者に若年層は少ないと思うが、所有者が亡くなった時に引継ぎがなされているのか不安である。</p>
	<p>◎事務局 相続はされているが、山林の所有だけだと納税通知書が届かないため、所有している認識が無い人も多くいると認識している。</p>
	<p>■委員 所有不明の山林についてどうするのか。</p>
	<p>◎事務局 制度として最終的には市が管理できることとなっているが、対策について検討しないといけないと思っている。</p>
	<p>■委員 ヒグマの担い手対策は検討だけだと遅いのでは。もっと進むような記載の方がいいのではないか。</p>
	<p>◎事務局 10年後を見据えた形で考えたい。</p>
<p>■委員 森林管理者制度は新たに始まったものか。</p>	
<p>◎事務局 取組は昨年からはまったもの。</p>	

<p>発言内容</p>	<p>■委員 加入は進んでいるか。</p> <p>◎事務局 現状把握をしていて、これから通知等の発出など進めていくところである。</p> <p>○基本目標Ⅳ-3 商工業の振興</p> <p>■委員 複合施設の関係について中心市街地の活性化にもあっていいと思う。物流拠点化の部分も商工業で触れなくていいものか どちらも中心市街地と産業の活性化で触れていないのは違和感がある。</p> <p>◎事務局 現在重点などの考え方を部内で整理中。ご意見として承る。</p> <p>■委員 重点事業になることはいいと思うが、商工業にもあるといい。</p> <p>■委員 主な施策・取組の「(3) 創業・起業支援と円滑な事業承継の促進について」に記載のある伴走型支援については名寄市はどういう関わりをしていくのか。体系的な部分を知りたい。</p> <p>◎事務局 中小企業の支援メニューを改正しており、元々ある創業支援の補助も制度改正している。国の制度によって「認定創業支援者」という認定を受けることができる。認定を受けた方にインセンティブを持たせた補助ができることになっている。商工会議所や商工会の経営指導員が創業からその後の経営まで伴走するメニューとしている。</p> <p>■委員 「地域の優位性」についてイメージしているものはあるか。</p> <p>◎事務局 名寄市の基幹産業は農業なので、農産物の加工場が一番イメージできる。付加価値をつける点において製造業がいいと思うが、来てくれる事業者が名寄市のどこに優位性を感じるかはケースによるため一概には言えないがニーズに合うところを考えていく必要がある。</p> <p>○基本目標Ⅳ-4 雇用の安定</p> <p>■委員 名寄市は家賃が高いという人が多い。市営住宅などを雇用のために増やせないものか。対策を考えてほしいし、人が住みたいと思える環境づくりも大事である。</p> <p>◎事務局 家賃相場が高いのは承知しており、公営住宅は収入による基準もあるため、他の施策で考えないといかないといけない。 空き家などの活用なども考えられる。</p> <p>■委員 サウンディング調査などで活用を探るのもいいと思う。</p>
-------------	--

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅳ-5 観光の振興</p> <p>■委員 スキー場、雪山、川などのルール作りなどにおいて、協力できる関係があるといいと思う。</p> <p>■委員 地域資源は何かということを書いたほうがいいのではないかな。そのほうがわかりやすいのではないかな。</p> <p>■委員 市内向けの体験やPRがあるといいと思う。地元の魅力を発見できるような取組も必要ではないかな。出先で話すのは市民である。市民が魅力を伝えられることが重要ではないかな。</p> <p>■委員 名寄の四季にわたって名寄市を呼び込めるような企画が必要ではないかな。そうするとリピーターも増えてくると思う。</p> <p>◎事務局 これから観光振興計画の策定に向けて進めていく。地域資源は名寄市の大自然であり都会にないものということでアウトドア観光について明記していく。インバウンドにおいて地域との交流のニーズが高まっていく。市民の皆さんに地域の魅力を再認識してもらおう取組も行っていく。</p> <p>■委員 大自然が地域資源というどどの市町村も大自然があると思う。具体的な資源を明記していくべきではないかな。観光は具体的に示していかないとけないのではないかな。</p>
-------------	---